初代地域おこし協力隊員活動報告

松木直人隊員 2年間の軌跡

行方市初代地域おこし協力隊員の松木直人さんが令和元年度を持って退任しました。 松木さんは、早稲田大学をはじめとする研究組織「千年村プロジェクト」とともに地 域に人が長く住み続けてきた理由を調査してきました。また、行方市に関わりを持ち続 ける関係人口を増やすためのイベントやものづくりを行ってきました。

以下に、2年間の主な活動を、写真に本人の解説をつけてご報告します。





学生と地域の方々に協力いただきながしいでは、霞ヶ浦とともに培われてきたした。行方市での驚きと喜びを都会 ら調べています。歴史だけでなく、実 暮らしを感じ取ることができます。 際の暮らし方にも着目しました。



千年村の調査風景です。たくさんの 全国初の認証千年村の麻生。湖岸沿



さまざまな場所での講演活動も行いま の人に伝えると、とても新鮮だという ことで、実際に行方市に訪れてくれる 方もいました。



行方交流圏協議会の活動では、市|市外から来る方々に向けて、ツアー マップを作成しました(いばらきデザ インセレクション選定受賞)。



内の人を通して行方市の魅力を伝える を2回行いました。千年村の視点で 市内の農家さんとともに現場の体験 |まちを歩き、アクティビティを通じて、|を盛り込んだ創作料理を東京の方と 五感で行方市を感じてもらいました。



| 行方市のシティプロモーションとして。 楽しむ会を行いました。



紹介や意見交換を行いました。



内容を見ることができます。



千年村大会 2019 では、全国の千年 | 行方市地域おこし協力隊のウェブサイ | 行方市の竹細工職人さんと大工さん 村の関係者とともにお互いの地域の ト (http://name-okoshi.com/) を制 に、お試し居住施設の欄間を製作し 作しました。現在の隊員やその活動していただきました。私は構成デザイン を担当しました。

【松木隊員からのメッセージ】

行方市には、1000年以上前から人が住み続けてきたであろう場所がたくさんあります。それは 行方市が食に恵まれ、災害も少なく、安心して暮らし続けられる場所であることの証でもあります。 「千年村プロジェクト」により、すでに麻生地区が千年村として認証されておりますが、現在は 武田地区の調査が進められています。

2年間のさまざまな活動を通じて、行方市を深く知ることができました。ここでの暮らしは素 晴らしく、そこに住む皆さんは本当に温かい方ばかりでした。この体験はこれからの人生でも大 切なものになると感じています。またいつか自分の仕事を持ち、行方市の皆さんの力となれるよ うに頑張っていきます。活動を支えてくださった皆さん、本当にありがとうございました。

▶地域おこし協力隊とは…

平成 21 年度に創設されたもので、都市地域から住民票を移動して一定期間地域に居住し、地域ブラン ドや産品の開発・PRなど、地域での協力活動に従事しながら、その地域への定住・定着を図る制度で、近年、 受け入れる自治体が急激に増えています。本市では、本年度は2人が活動しています。

なお、原則的に、地域おこし協力隊に係る人件費、活動費については、特別交付税により、全額国庫負 担となります。



(公社)茨城県青少年育成協会 青少年団体等顕彰受賞

小松﨑博さん

市青少年相談員連絡協議会会長および青少年育成行方 市民会議副会長の小松﨑博さん(八木蒔)が、長年にわ たり青少年の健全育成に携わり、青少年育成指導者とし て、他の模範となる顕著な活動を行っていることが認め られ、公益社団法人茨城県青少年育成協会長から表彰さ れました。

これを受け、3月27日(金)に青少年育成行方市民 会議の鈴木周也会長から表彰状が授与されました。

小松崎さんは、昭和63年から現在まで青少年相談員 として活動し、青少年の非行化防止活動、あいさつ・声 かけ運動や下校時の防犯パトロール等に取り組んでいま す。また、青少年育成行方市民会議副会長として青少年 の健全育成に努め「地域親」としての活動を実践されて います。

小松﨑さんのますますのご活躍をお祈りします。おめ でとうございました。





写真②(中央)





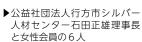
副市長・教育委員会委員・監査委員・公平委 員会委員がそれぞれ選任、任命されています

副市長(選任)・教育委員会委員(任命)・監査委員(選 任)・公平委員会委員(選任)が、議会の同意を得て市長 から選任・任命されています。

3月31日をもって退任されました武内康彦副市長の 後任には、永峰英明副市長が選任されました。任期満了 による邊田益男教育委員会委員の後任には、明石延之教 育委員会委員を任命、鈴木宏監査委員の後任には、大輪 嘉裕監査委員が選任されました。また、松金美智子公平 委員会委員が再任されました。

それぞれ任期は、4月1日から4年間です。

- ・副市長 永峰英明氏 (写真①)
- ·教育委員会委員 明石延之氏 (写真②)
- ·監查委員 大輪嘉裕氏 (写真③)
- ·公平委員会委員 松金美智子氏(写真4)



▼貸し館業務の合間に製作した





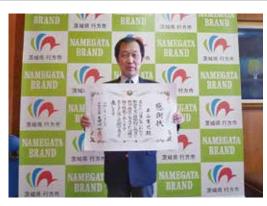
市に手作りマスクを寄贈

行方市シルバー人材センター女性会員6人

5年前から玉造公民館有効利用協議会員として活動してい るメンバーを中心に、公益社団法人行方市シルバー人材セン ター (石田正雄理事長) の女性会員でもある6人 (飯田光子 さん、高須清子さん、田口芙美子さん、松金美智子さん、中 村タカ子さん、新堀文江さん)が、4月13日(月)に市長 室を訪ね、市に手作りマスク 120 枚を寄贈しました。

「新型コロナウイルスの拡散予防のため、必要な方々に利 用していただけるよう、さらしを材料に、心を込めて作りま した」とメンバーの皆さん。

なお、皆さんは、本年度から玉造公民館の管理を市からシ ルバー人材センターに任せられたことから、女性の立場から の意見を踏まえ、誰もが気軽に利用できる新たな公民館づく りを目指していくとのことです。



長年の献血に対し知事から感謝状

このたび、平山寛児さん(行方)に、長年の献血に対し て茨城県知事から感謝状が贈呈されました。400ml 献血 をメインに、35 年にわたり 100 回を超える献血を行って きたことが表彰の対象となりました。例年は県主催の健康 づくり大会での表彰ですが、今回は新型コロナウイルス感 染症対策のため、特別に水戸献血ルームにおいて個別に贈 呈が行われました。

長年続けられた理由をお聞きすると「どこかで誰かの役 に立っていると思うと、それだけでうれしいです。でも、 本音は血液検査サービスも楽しみの一つです」と笑顔で答 えてくれました。

市内においても各所で献血を実施していますので、献血 車を見かけたら、ぜひご協力ください。



JA なめがたしおさい 関川 隆常務理事

新入学児童の交通安全を願って

JAなめがたしおさいが交通安全帽子を寄贈

3月30日(月)、JAなめがたしおさいの関川隆常務理事が横田英一教育長を訪ね、令和2年度に市内の小学校に入学する児童に対して、交通安全帽子(黄色い帽子)を242個寄贈しました。

これは、交通安全の啓発や交通事故防止に役立てて ほしいと、JA共済茨城県本部が昭和52年度の入学生 に寄贈して以来、毎年実施しているものです。

寄贈された帽子は、各小学校を通じ、新小学1年生 に配布しました。



茨城県教育広報・NIE コンクール 教師作成部門 県教育長賞受賞

北浦小学校 武田民弥校長

3月16日(月)、北浦小学校の武田民弥校長が横田英一 教育長を訪ね、茨城県教育長賞の受賞報告をしました。

このコンクールは、「新聞教育(NIE)」の発展と PTA 広報誌や公民館だより等の「教育広報活動」の振興を目的とし「児童・生徒作成部門」「教師作成部門」など 4 部門からなります。

武田校長が1年間にわたって作成してきた「北浦小だより Hop Step Jump」の実践が評価されての受賞で、昨年度は年間46回発行しています。北浦小学校以外の方も、北浦小学校のホームページで閲覧することができますので、ぜひご覧になってください。

北浦小学校の皆さん、武田校長先生、おめでとうございました。

新入学児童・生徒の防犯対策に



常陽銀行麻生支店 國井重臣副支店長

常陽銀行から防犯ブザー

株式会社常陽銀行から、令和2年度の新入学児童全 員に、防犯ブザーが贈られました。

4月2日(木)、常陽銀行麻生支店の國井重臣副支店 長が教育長を訪ね、「児童一人一人の防犯の一助になれ ば」と防犯ブザー250個を手渡しました。

平成 17 年から毎年寄贈いただき、本年で 16 回目となります。



行方警察署生活安全課 来栖圭介課長

行方警察署および行方地区防犯協会から防犯用品

3月30日(月)、行方警察署および行方地区防犯協会から、令和2年度の新入学児童・生徒全員に、防犯用品をいただきました。

小学1年生には「いかのおすし」の防犯用語が書かれたボックスティッシュを、中学1年生には自転車盗難防止のためのワイヤーロックをいただきました。



令和 2 年度行方市消防団役員を お知らせします

【本部】

団長 邉田和夫

副団長兼麻生支団長 藤崎仙一郎

副団長兼北浦支団長 森崎正暁

副団長兼玉造支団長 阿部浩幸

【麻生支団】

副支団長 伊藤栄司

第 1 分団長 小沼弘道 同副分団長 諏訪雅俊

第2分団長 前嶋俊之 同副分団長 大原 哲

第3分団長 宮内洋治 同副分団長 栢葉雅洋

第4分団長 大輪文夫 同副分団長 本田竜一

第5分団長 額賀勇八 同副分団長 大貫 明

【北浦支団】

副支団長 真家孝之

第 1 分団長 岡里 亮 同副分団長 伊藤徹也

第2分団長 岡崎一夫 同副分団長 前田正宏

第3分団長 浅野悦朗 同副分団長 宮内 洋

第4分団長 久米雅文 同副分団長 河野秀夫

【玉造支団】

副支団長 小沼精一

第1分団長 荒木田守 同副分団長 田山正貴

第2分団長 岡里栄一 同副分団長 磯山裕之

第3分団長 塙 昭浩 同副分団長 瀧崎健太郎

第4分団長 風間 亨 同副分団長 小松崎伸

第5分団長 岡田祐樹 同副分団長 小松﨑亨



「第 42 回ちゃぐりん感想文」 全国で最優秀賞受賞!

麻生東小学校5年の箕輪友音くん(受賞当時4年生)が、3月25日(水)に学級担任の阿須間幸男教諭と共に横田英一教育長を訪ね、標記感想文の最優秀賞受賞報告をしました。

この賞は、JA グループー般社団法人「家の光協会」が発行する子ども雑誌「ちゃぐりん」の感想文を審査したもので、令和元年度は全国から 1255 点の応募がありました。

箕輪くんの感想文「『はじめてものがたり』を読んで」は、本市の「サツマイモ」の品質を、全国でもトップレベルに引き上げた農家の努力をたたえると共に、将来「農家になる」という夢を叶えるためには「勉強を頑張る」ことが大切であることに気付くなど、素直な気持ちが表現されていました。

表彰式は2月18日(火)に福岡県福岡市で盛大に行われ、受賞者のほかJA関係者が多く参加した会場で、 箕輪くんが受賞者を代表し感想文を発表しました。

最優秀賞の受賞は、市民および本市の農業を勇気づける 大きな力となりました。おめでとうございました。

行方市体協残弾整理射撃会

3月1日(日) 茨城県狩猟者研修センター射撃場

【優勝】宮内栄一【準優勝】前川正明【第3位】坂本 孝

行方市民テニス大会

3月8日(日) 北浦運動場テニスコート

男子ダブルス 女子ダブルス

【優 勝】飯島・鹿志村 【優 勝】原田・大森

【準優勝】遠峰・鈴木 【準優勝】荒木田・飯島

【第3位】高橋・林 【第3位】瀬畑・宇野

射会

3月22日(日) 麻生運動場弓道場

射詰【優勝】久保喜雄(麻生)

射込【優勝】柳町照夫(麻生)【準優勝】横山侑幸(麻生)

【第3位】額賀陽平(麻生)